

令和6年度事業報告

自 令和6年(2024年)4月1日

至 令和7年(2025年)3月31日

令和6年4月20日開催の、理事会において承認を得ました事業計画並びに事業活動方針に基づき実施した、主要の事業の概況について次の通り報告いたします。

公益社団法人 熊谷法人会

会 長 石 山 洋 一

1. 事業概況

『当会は、“税のオピニオンリーダー”として、地域への社会貢献を行い、広域的な交流と租税教育を通して、「元気な企業経営者」を力強くサポートし、2市1町の良き経営者を目指すものの団体である』を基本的指針とし、①税の啓発活動、②税制提言活動、③地域企業の経営支援活動、④地域社会貢献活動、⑤組織基盤の拡充、⑥財政基盤の確立を中心に事業活動を展開して参りました。

「税の啓発活動」のうち、租税教育活動では2市1町の小学校7校(197名の児童)を熊谷法人会青年部会・女性部会が担当となり、租税教室に熱心に取り組みました。

「税制提言活動」では、会員・役員へのアンケートを基に全国法人会総連合が取り纏めた「令和7年度税制改正に関する提言」を、地元選出の国会議員並びに熊谷市・深谷市・寄居町の行政の長に会長と税制委員長が中心となり、「提言書」を手渡し致しました。

「地域企業の経営支援活動」においては、『新入社員・若手社員研修』、『経理の基本と実務セミナー』等を開催、また、オンラインでは「エクセル活用講座」や「社会保険実務講座」等を開催し、多くの会員企業の皆様にご参加頂きました。

「組織基盤の拡充」「財政基盤の確立」では、令和6年9月6日(金)に税務当局、税理士会、法人会役員との「三者懇談会」を開催後、組織委員会と厚生委員会合同の委員会を開催致しました。熊谷法人会との関係支援団体の皆様から多大なるご支援とご協力を仰ぎながら、会員が一丸となって組織・財政基盤の充実・強化に努めて参りましたが、会員数では2,443社と対前期末比▲13社、加入率においても▲2.3%となりました。主な減少理由は高齢化による事業の休廃業・縮小、経費の削減、メリット無し等々です。

ここで、女性部会の中心的事業「第10回税に関する絵はがきコンクール」では、2市1町の小学校53校全てに参加協力を頂き、応募児童2,561名(応募率90.1%)と埼玉県下15法人会の中でも上位の実績を維持しております。

青年部会では、主力事業の一つ、「健康経営PJ」の宣言書獲得目標9企業に対し9企業を獲得し、前年度に引き続き目標達成致しました。

以下、それぞれの関係にてご説明をさせていただきます。

2. 総務関係

①財務基盤を支える会員数は、退会者の増加現象を経て近年では純減幅は小さくなって来てはいるものの、休業・廃業等の理由から依然新規獲得以上に退会数が上回り、厳しい状況は続いております。なお、支出面においては、経費削減や一部事業の見直し等を視野に

事業を展開した結果として、正味財産期末残高では対前年度比▲131万5千円となり、これは前年度比797万円の収支改善に至っています。

- ②企業の税務コンプライアンス向上を図るため、「自主点検チェックシート」の利用促進を役員会・理事会・各委員会・研修会の他、青年・女性部会の会議体において行いました。
- ③添付書類も含めたe-Taxの普及・定着については、各会議体を通じ周知の他、ALL e-TaxのメリットやQ&Aを記したパンフを会報に掲載する等、対応を図って参りました。
- ④定額減税については、その周知に向けて熊谷税務署と連携し、4月と5月に定額減税説明会を2会場の午前と午後の都合4回行い各事業所の事務円滑化を促しました。
- ⑤「基礎からわかる社会保険・労働保険の事務手続」の小冊子を7月の会報に封入し、会員企業の方々にお役立ていただきました。

3. 組織関係

- ①当委員会では、9月から12月の期間に会員増強運動を行い、地元の金融機関・税理士会・提携生損保にも協力を呼び掛け、各支部において活発な会員勧奨活動を展開致しました。また、「役員一人1社会員獲得運動1000」による、声かけ運動を展開、役職員、関係者一体となり会員加入勧奨に取り組みました結果、埼玉縣信用金庫31会員、埼玉りそな銀行7会員、足利銀行4会員、提携生損保3会員と大変厳しい環境下ご健闘を頂きました。

なお、今年度は期末現在会員数2,443社と前期末比▲13社となり、結果、加入率は同期末比▲2.3%となりました。

- ②組織の拡充・強化のため、組織委員会・厚生委員会を合同委員会として、9月6日(金)に開催。各委員並びに提携生損保3社の幹部・推進委員の皆様が一堂に会し、令和6年度の「会員増強運動」及び「福利厚生制度推進」について、話し合いました。
- ③青年部会員につきましては、令和6年度定年等による退部者が7名、入会者が3名で、最終的には、期末部会員数86名となりました。次年度においても、引き続き会員獲得を推進して参りたく。
- ④女性部会員は、期末部会員数397名と前年期末比14名減少致しました。
- ⑤会員の状況について

(1) 会員数等

(令和7年3月31日現在)

	本 会	青年部会員数	女性部会員数
所 管 法 人 数	6,058社	—	—
会 員 数	2,443社	86名	397名
加 入 率	40.3%	—	—

(2) 会員支部別状況

(令和7年 3月31日現在)

支部名 項目	熊 谷	深 谷	寄 居	妻 沼	岡 部	川 本	花 園	豊 里	合 計	所 管 法人数
期首会員数	1,164	520	238	177	116	95	91	55	2,456	5,767
所管法人数	2,989	1,446	506	336	262	191	216	112	6,058	—
期末会員数	1,161	516	233	179	113	94	94	53	2,443	6,058
増 減	△3	△4	△5	2	△3	△1	3	△2	△13	291
加入率(%)	38.8	35.7	46.0	53.2	43.1	49.2	43.5	47.3	40.3	—

(3) 会員状況の推移

(令和6年12月31日現在)

年月 項目	平 28/12	平 29/12	平 30/12	令元 /12	令 2/12	令 3/12	令 4/12	令 5/12	令 6/12
法 人 数	5,467	5,496	5,358	5,578	5,617	5,648	5,662	5,767	6,058
会 員 数	2,770	2,731	2,668	2,627	2,572	2,553	2,504	2,479	2,467
加入率(%)	51.0	51.0	49.7	50.2	47.1	45.8	45.2	44.2	43.0

⑥三者懇談会

令和6年9月6日(金)に、税務署、税理士会、当会による「三者懇談会」を21名参加の下、開催致しました。

三者懇談会は、9月から12月末までの会員勧奨に対する推進運動について及びe-Tax利用推進について、ご支援をお願い致しました。また、税理士会の先生方より、多くの貴重なご意見をお伺いし、熊谷法人会会員増強に対しお力添えを頂いております。

4. 研修関係

研修委員会を令和7年3月14日(金)に開催。当日は、今後の研修会・セミナー・役員県外研修会について、意見交換が行われました。今後の研修事業については、研修参加者の増加をどう図るか、また、オンライン研修の活用について検討されました。

(1) 研修会の開催

①令和6年度の研修会の開催状況は、下表の通り推移しております。

②税務研修会として熊谷・妻沼支部では、熊谷税務署統括官を講師にお迎えし4回開催。

4/18、6/14、11/7、1/16 場所：熊谷市商工会館 テーマ：「相続税及び贈与税の概要」・「税のよもやま話」・「スマホ申告体験」

③本会にて役員県外視察研修会実施。参加者：15名

10月29日(火) 宇都宮市ライトレール試乗と日光散策

④妻沼支部では、講師に岩崎恭子氏を迎え、公開講演会を開催。参加者：106名

10月26日(土) テーマ：「泳縁(えいえん)～金メダル獲得後の挫折と学び～」

⑤「新入社員・若手社員研修」は各企業の要望があり、4月11・12日に延べ38名が参加、半日研修として開催。(熊谷商工会議所との共催) また、フォローアップセミナーは12月5日、20名の参加者にて同様に半日研修として実施。

⑥令和6年も経営特別セミナーとして、対面形式とオンラインで開催致しました。

《対面方式》

・7/8(月) 「経理の基本と実務セミナー」 参加者：30名

《オンライン開催》

・9/11・9/20 「エクセル活用中級講座」「エクセル活用上級講座」

・11/21～12/11 「基礎から学ぶ社会保険実務講座」

⑦年末調整セミナーは、関東信越税理士会熊谷支部の税理士の方々にご協力いただき、熊谷市内の2会場で実施。

・11/7(木) 「年末調整セミナー」熊谷商工会館会場 参加者：55名

・11/21(木) 「年末調整セミナー」さくらめいと会場 参加者：45名

⑧税務相談会は、令和6年度予定通り7回開催。(参加者：延べ29名)

(講師：関東信越税理士会熊谷支部 安原 宣彦税理士)

(2) その他の研修活動

- ①無料のインターネットセミナー（オンデマンド研修）の利用も年々増加。アクセス数は当年度で9,274件、会員ログイン数は月130件を超過、関心度の高さの現れと思われます。現在、700タイトル以上のセミナーが無料で受講出来ます。
- ②DVDの貸し出しは、社内研修・従業員の自己啓発等にご活用頂き、ビデオ・ライブラリーの充実から、令和6年度は61本の利用実績です。現在、324巻のDVDを備え、これらは管理者向け研修や新入社員研修等でも活用頂いております。
- ③高齢化社会に対応した年金セミナーを3月17日（月）熊谷市立商工会館にて開催。在職老齢年金を主とした公的年金について、わかりやすく解説。

(3) 研修実施回数と参加者数

●集合参加型研修の実施回数と参加者数

	本会事業		支部事業		部会事業		合 計	
	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
税法・税務	21回	303名	1回	106名	18回	259名	40回	668名
経済・金融	2回	58名	0回	0名	0回	0名	2回	58名
その他	2回	39名	1回	106名	16回	199名	19回	344名
合 計	25回	400名	2回	212名	34回	458名	61回	1,070名

●実施回数・参加者数の推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実施回数	27回	31回	57回	73回	61回
参加者数	423名	423名	1,385名	1,479名	1,070名

上記以外に「インターネットセミナー」として、令和6年度オンデマンド1,720件（内一般86件、会員1,634件）。また、オンライン研修3回実施、109名が参加。

5. 税制関係

(1) 税制改正要望活動

- ①令和7年度税制改正に関するアンケート調査集計を取り纏め、当会としての要望を全法連、県法連に提出致しました。今回のアンケートにおいては「インボイスと消費税」をはじめ、「事業承継」に関するアンケート内容が多く取り上げられました。
- ②10月18日（金）には、法人会全国大会（鹿児島大会）が開催され、全国の法人会組織を挙げての税制改正提言が決議され、その提言事項を、当会地区選出国會議員2名と熊谷市・深谷市・寄居町の首長、また熊谷市議会議長に対し、全国法人会・当会会員の総意として提言いたしました。（参加者：会長・税制委員長・事務局長）

(2) 税務行政関係

三者懇談会（税務署、税理士会、当会）を開催し、管内納税者協力団体として連携を図りました。三者懇談会は、当会の会員加入勧奨に対する増強運動、e-Tax利用率向上をお願いする場でもあります。

6. 社会貢献関係

(1) 税の啓発活動

①11月11日(月)～11月17日(日)の「税を考える週間」において、熊谷税務署窪田署長講師による租税教室として、「署長講演」を11月13日(水)に開催。(女性部会の事業)

②11月13日(水)の特別講演会は、以下の通り開催致しました。

場所：熊谷スポーツホテルパークウイング 講師：タケ小山氏

テーマ：「己を知り、敵を知る」 参加者115名

(2) 社会貢献活動

①管内各支部内で催される、「ふるさとの祭典市」や「産業祭」等に、法人会支部役員と熊谷税務署幹部の皆様が共に参加、イベント用ジャンパーを着て、「啓蒙用チラシ」を配布、地域に密着した活動に積極的に取り組みました。

また社会貢献活動として、当年度も寄居支部女性部会主催による「復興チャリティコンサート」が開催され、今回は令和6年に発生した能登半島地震並びに奥能登豪雨の被災者支援のため、募金273,125円を珠洲市へ義援金として送付しました。「おかベコスモス祭り」においては、岡部支部女性部会の皆さんが「ポップコーンの配布」を行い、有料配布分について、ふっかちゃん子ども福祉基金へ寄付するなど、社会貢献活動に寄与致しました。

②豊里支部では、渋沢栄一記念館駐車場で行われた、青淵まつりへの協賛・参加。

参加者：17名 また、別途、青淵公園イルミネーションへの協賛、参加協力も行われました。参加者：延べ17名

③女性部会が中心となって行っている「エコキャップ回収事業」は、各支部の協力によりキャップの回収累計が3月末現在、3,955,755個となり、医療支援・社会貢献活動としてNPO法人エコキャップ推進協会へ寄贈させて頂いております。

7. 広報関係

広報委員会では、年間6回の編集会議を重ね、計6回奇数月に会報を発行。

(1) 広報誌「法人くまがや」の発行

広報誌「法人くまがや」	No.221号(令和6年5月号)～No.226号(令和7年3月号)
全国法人会総連合 機関紙「ほうじん」	年間4回発行「法人くまがや」と同封して送付

①内容も当局の税制改正の主要事項をはじめ、TAX・Q&A、県税事務所からのお知らせ等税に関する情報や、地元税理士による寄稿に加え各支部の活動状況や研修・行事等、旬な情報提供を頂きながら充実した内容に努めて参りました。

②「第9回税に関する絵はがきコンクール」入賞作品を、ポケットティッシュとして作成。法人会グッズとして租税教室等で配布しました。

③「会長訪問」も、引き続き各企業経営者の皆様のご協力の下、会長と代表者様との対談型式で原稿を取り纏めさせて頂きました。

8. 厚生関係

9月6日(水)に、組織委員会・厚生委員会合同会議を開催。福利厚生制度推進への協力体

制、役員紹介運動、また、連携について話が進められました。

《福利厚生制度加入企業拡大キャンペーン” Challenge100” 推進について》

- ①大同生命は、法人会福利厚生制度、キャンペーンの必成に向けて「大型保障制度」を推進。「役員紹介運動」により、役員企業へ推進員訪問を実施した。

《大型保障制度》

○対象役員企業69社 加入役員49社 役員加入率71.0% 目標到達

- ・青年部会員には、「健康経営宣言書」の提出及び「ウォーキングキャンペーン」をセットに福利厚生制度を推進した。

《青年部会新規契約企業》

○目標 6 実績 7 件 進行率116.7%

- ・女性部会員の加入率向上と新規制度加入を促した。

《女年部会新規契約企業》

○目標 4 実績 9 社 進行率225.0%

- ②A I Gは、ビジネスガードの役員加入率の向上、加入促進を図った。また、各事業者へ向け、賠償リスクへの備えを確認する上でパンフレットを配布した。

- ③アフラックは、会員企業の従業員を対象に「転入促進」を積極的に推進。また、役員企業に対する加入率の向上、新契約保険料・転入保険料の新規加入企業獲得数の推進強化を図った。

- ④「成人病予防検診事業」について、令和6年度は3日間で36名が受診し、事務取扱手数料は97千円。次年度も、会報へのチラシ折込等、広報活動を積極的に行い、会員企業に受診機会を提供し、健康経営の一助となるようアナウンス致したく。

- ⑤熊谷総合病院の「PET-CT検診」について、会報への折込チラシを封入。継続して会員利用の促進を図って参ります。

以下に提携生損保会社の実績をご報告いたします。

●経営者大型総合保障制度（大同生命保険株式会社）

大型総合保障制度加入状況			令和6年度 新規加入企業
項 目	令和6年3月末	令和7年3月末	
会 員 数	2,456社	2,443社	目標19社
加入企業数	397社	386社	実績15社
加 入 率	16.2%	15.8%	達成率78.9%

●ビジネスガード（A I G損害保険株式会社）

項 目	令和6年3月末	目標	実績	目標達成率	令和6年3月末
加入企業数	234社	257社	236社	91.83%	236社
加 入 率	9.5%	—	—	—	9.7%

●がん保険（アフラック生命保険会社）

項 目	令和6年3月末	目標	保険料	目標達成率	令和7年3月末
加入企業数	414社	—	—	—	401社
加 入 件 数	1,158件	—	—	—	1,131件
加 入 率	16.9%	—	—	—	16.4%

9. 青年部会

- ①「財政健全化のための健康経営プロジェクト」を浸透・普及させるため、青年部会では令和3年度より活動に取り組んでいる「健康経営宣言書」の登録について、山口青年部会長を中心に大同生命保険株式会社と連携して対応。
結果、「健康経営宣言書」提出企業9社県連目標に対し、9社と獲得目標達成(100%)となった。

②青年部会・女性部会の共同事業として、「租税教室」を下記の通り実施致しました。

○令和6年度「租税教室」実施校

開催日	学校名	開始時間	終了時間	児童数
6. 6. 7 (金)	熊谷市立秦小学校	10:35	11:20	8名
6. 6. 18 (火)	寄居町立寄居小学校	13:45	14:30	44名
6. 6. 21 (金)	寄居町立男衾小学校	13:45	14:30	59名
6. 7. 3 (水)	寄居町立折原小学校	13:50	14:35	9名
6. 7. 5 (金)	熊谷市立市田小学校	13:55	14:40	24名
6. 10. 21 (月)	深谷市立豊里小学校	13:50	14:35	25名
7. 1. 29 (水)	熊谷市立江南北小学校	13:35	14:20	28名
合計	7校			197名

③会員増強運動では、青年部会役員が中心となり、期中に3名の若手経営者が入会。

令和6年度は、定年等により7名減であったため、青年部会員数は期末86名と、埼玉県県連下でも多くの会員数を維持致しました。

④「りそなキッズマネーアカデミー」は、8月6日(火)に実施。埼玉りそな銀行熊谷支店において、小学校低学年の児童30名に山口部会長が租税教室を行いました。

⑤北部ブロック青年部会サイエンスショーに参加。(主幹:本庄法人会)参加者:5名

⑥青年部会「視察研修会」は、2月21日(金)深谷市内で実施。渋沢栄一翁のゆかりの地を巡りながらバスの自動運転を体験。会員相互の親睦や異業種交流も図れ、有意義な視察研修会となりました。

参加者:10名

⑦「垂統塾」への参加。7名参加し4名が終了。後日、埼玉県法人会連合会より修了書が直接本人へ郵送にて贈呈されました。

⑧全国青年の集い「福井大会」開催、当会からは4名が参加致しました。

11/7(木)～11/8(金) サンドーム福井

・大会スローガン:「福の國より未来を研げ!～志を立て、新時代の扉を開こう～」

・活動の3本柱:「租税教育活動・部会員増強運動・財政健全化のための健康経営プロジェクト」の推進

10. 女性部会

①節目となる第10回「税に関する絵はがきコンクール」を実施。熊谷市・深谷市・寄居町の各教育長様よりご支援・ご理解を頂き、本事業には熊谷市、深谷市、寄居町の小学6年生2,561名の児童に参加頂きました。

応募率も90.1%(昨年度91.5%)となり、12月10日(火)審査会に於いて、優秀作品

33点を選考致しました。「さくらめいと月のホール」で表彰式を実施、熊谷税務署窪田署長を始めとした11名のご来賓の方々に出席をいただき、受賞児童、ご父兄、総勢93名の盛大な表彰式となりました。

②会員同士の親睦と研修を図る目的から、今年度は日帰りの役員県外視察研修として、新江ノ島水族館見学をメインに実施致しました。

③11月11日（月）～17日（日）の「税を考える週間」では、青色申告会連合会・納税貯蓄組合連合会と当会にて租税教室を共同開催。熊谷税務署長を講師にお招きし「税を考える ～相続税の仕組み～」と題して、「租税教室」を開催致しました。

④深谷支部では、健康セミナーにて「健康体操」を4回開催、好評をいただきました。

⑤全国女性フォーラム「広島大会」を開催。会場：広島グリーンアリーナ

参加者：川野辺（前）部会長、栗原部会長、村田副部会長の計3名が参加。

キャッチフレーズ：〔2024 HIROSHIMA 今、みつめなおそう！ ～多島美人の瀬戸・豊かな里山から～〕

⑥その他各支部において、実施された事業については、別紙をご参照下さい。